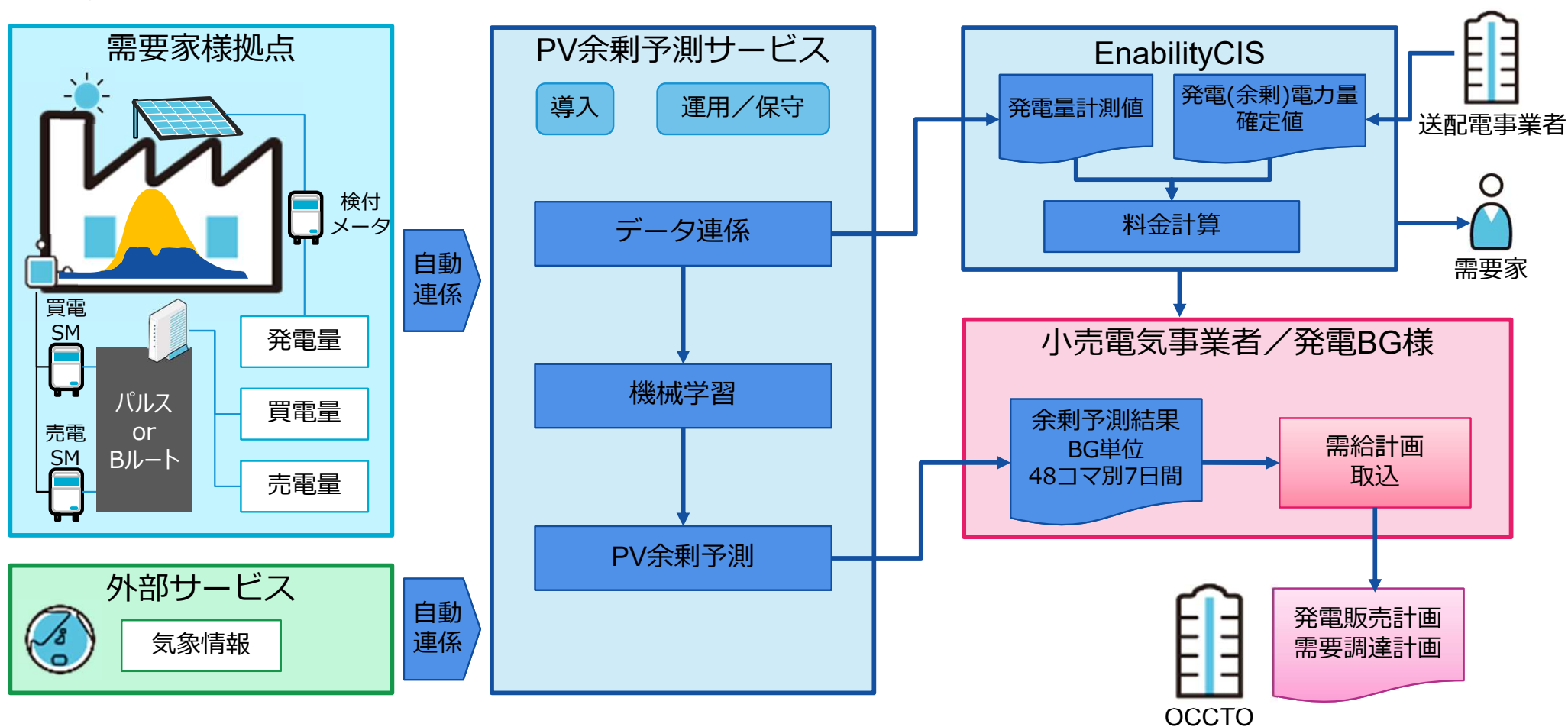


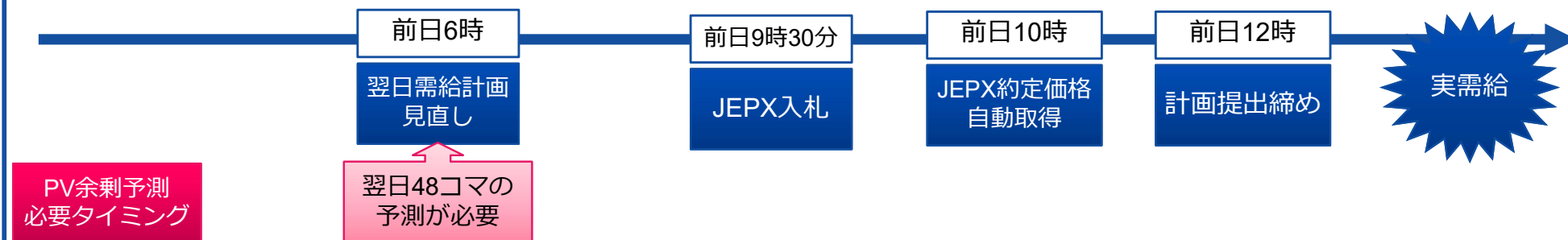
- 余剰有PPAや自己託送では、逆潮分の電力量を発電販売計画に含めることによるインバランリスクが高まると認識しております。
- PV余剰予測サービスでは需要家様拠点の電力量情報や気象情報を活用することにより、30分単位のPV余剰量の予測結果を提示します。また、PV-PPAにおいて発電量を検付メーターより計測することにより、自家消費料金計算に活用する発電量の計測、更には小売電力料金クラウドサービス「Enbility CIS」と連携した料金計算も提供可能です。



- PV余剰予測サービスのアウトプットは以下のようになります。

予測実施時間

- 相対取引等の小売電気事業者様の電源調達事情により、PV余剰買取分を考慮した需給計画作成タイミングは異なると認識しております。
- 予測の実施タイミングはお客様と調整するものといたします。



アウトプット

- 土日祝日等の需給管理業務を考慮し上記2タイミングにて、7日間の48コマ別のPV余剰量を出力します
- ✓ 予測としては2タイミングそれぞれにおいて最新の情報を元に翌日からの7日間の余剰量を予測します

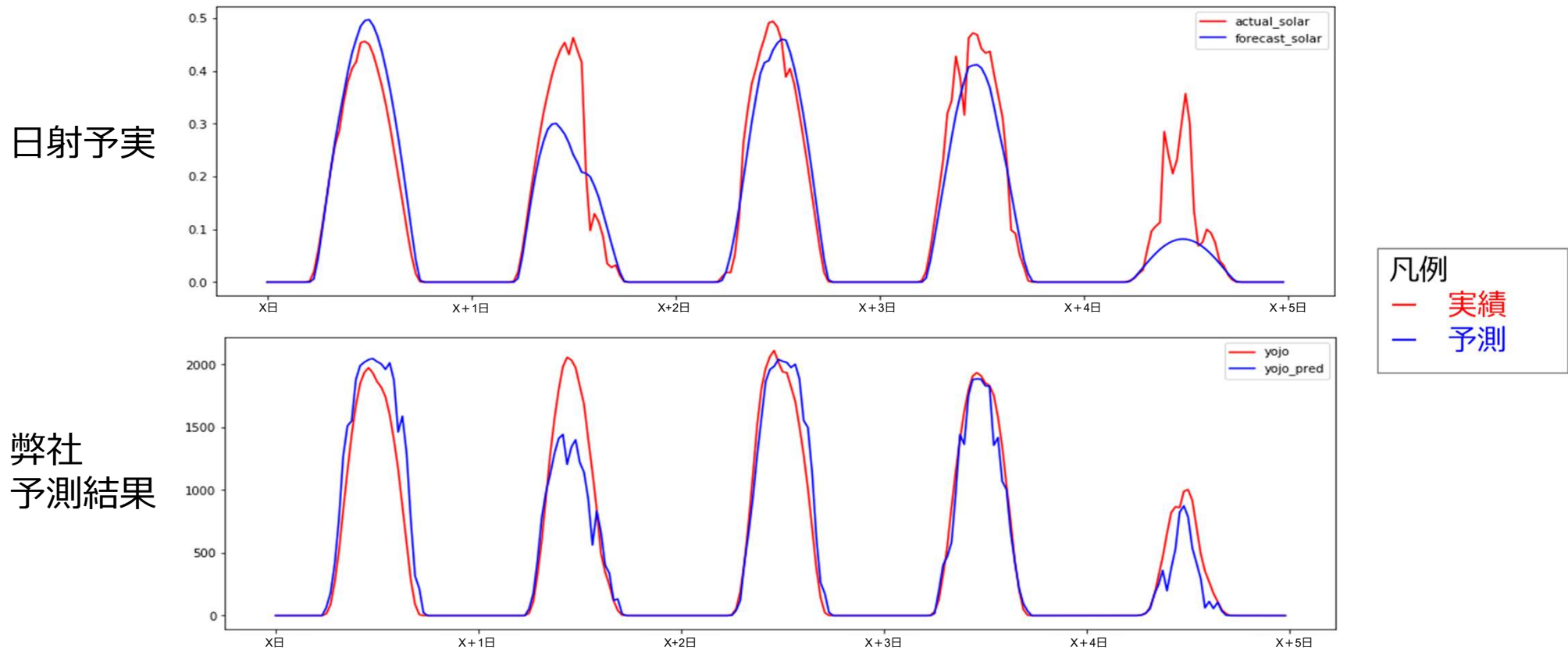
例) 2021年ゴールデンウィーク時の予測イメージ

予測日 (9時/15時に起動)	予測対象							
	2021/4/30	2021/5/1	2021/5/2	2021/5/3	2021/5/4	2021/5/5	2021/5/6	2021/5/7
	金	土	日	月(祝日)	火(祝日)	水(祝日)	木	金
2021/4/29 (木)	予測対象 (7日間)							
2021/4/30 (金)		予測対象 (7日間)						

7日分の48コマ予測値
(N需要家の場合にはBG
単位に集計して出力)

時間	余剰量 (kWh)
00:00-00:30	xxx
...	
23:30-24:00	yyy

- 弊社予測モデルにて、PV余剰予測検証をした際の結果イメージは以下のとおりとなります。



PV余剰予測はPV発電予測と同様、日射量予測に対する依存度が大きくなりますが、弊社ではAIを活用した予測モデル+日射予測の特性を踏まえた補正により、極力日射量予測の誤差に依存しない予測を行います。